高木兼寛

ビタミンの父

医学、軍人、経済人、経営者、教育者、政治家、開拓者、芸術家、宗教家……多彩な才能を持つ先覚者。

英国留学中の高木兼寛
写真提供 / 東京慈恵会医科大学

高木兼寛とはこんな人物

昔から国民病とも呼ばれていた脚気は、細菌が原因の伝染病だと考えられていました。しかし高木兼寛は、実際に病人を診て、その置かれた環境を調べることによって、脚気が栄養不足によって引き起こされると考え、軍艦の乗組員の食事を改善する実験を行います。

ところが、イギリスで臨床医学を学んだ兼寛に対して、東京大学や陸軍を中心とする日本の医学界の主流は、研究至上主義のドイツ医学でした。彼らは兼寛の栄養説を真っ向から否定します。

後に兼寛の研究はビタミンの発見につながり、脚気はビタミンＢの欠乏で発症することが証明されます。このことから、高木兼寛は「ビタミンの父」と呼ばれるようになるのです。

宮崎県郷土先覚者

宮崎県 郷土先覚者ホームページ
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/kenmin/senkaku/

宮崎県 総合政策部:みやざき文化振興課 TEL:0985-26-7117 FAX:0985-32-0111